

秋葉山の蝶 (42)

▼♂表面



▼♀裏面



スジボソヤマキチョウ
(シロチョウ科)

学名 *Gonepteryx aspasia*
niphonica Verity

春には、いろいろの蝶が羽化しはじめ、美しい装いで人々の目を楽しませてくれます。

しかし、成虫で越冬した筋細山黄蝶は、落ち葉の間にでももぐり込んで冬眠していたせいでしょいか、翅はひどく破れ、汚れた姿で冬眠から目覚めてきます。

でも、ボロボロになっても母蝶には、次世代を残すために、食樹のクロウメモドキに卵を一個一個産みつける大事な役目が残っています。

この卵は、6月末頃には美しい蝶に変身し、姿を見せてくれますが、夏に入ると夏眠に入り、秋にちょっと姿をあらわすとすぐに今度は、冬眠します。ほぼ1年間の寿命のうち、姿をあらわしている期間が、数か月と短い、興味ある生態を持った蝶です。

(佐藤良幸 本町4)



歩道の除雪作業



秋葉公園の清掃

失業対策事業の歴史をふりかえって

第二次大戦後、日本は、国土の荒廃と産業経済の著しい弱体化の中で軍需産業が解体され、大量の離職者が発生しました。当時の失業者数は、

海外からの引揚者や復員軍人を含めると二千三百万人にも達しました。しかも、その後の急速なデフレ経済により失業者がますます増える情勢にあつたため、産業の復興と失業者に対する一時的な就労機会の確保は急を要するものでした。このため、昭和二十四年五月に緊急失業対策法が制定され、公

共事業に失業者を吸収させる失業対策事業がスタートしました。

昭和30年以降、雇用失業情勢が好転

昭和三十年以降になると、経済もようやく好転し、雇用失業情勢は改善されました。しかし、失業対策事業就労者はいつころに減らず、むしろ増加、定職化し、昭和四十五年には二十万人が就労しているという状況になりました。

失対事業を段階的に縮小化

失業者を一時的に吸収し再就職までの間の労働力保全を図るという失業対策事業本来の意義とは、失対事業が離れてしまったのです。

そこで昭和四十六年十月に特別措置法が制定され、失業者の民間企業への雇用を積極的に進めることとあわせて新規就労者を認めないことになりました。また昭和六十二年からは制度改善により就労者の年齢要件が段階的に引き下げられ、平成二年度末には対象者を六十五歳未満としました。これによつて、最盛時全国で約三十五万人を数えた就労者数も現在は約一万人に減少。新津市でも昭和二十四年の事業開始以来、最盛時に二百二十一人に上りましたが、平成二年度末には三人を数え

市民生活にも大きな役割を果たす

振り返ると、失業対策事業は新津市にとって大きな役割を担ってきました。また、舗装新設工事とは側溝工事と同時に砂利道を舗装するものですが、失業対策事業では市道舗装延長の約三割にあたる十二キロを施工しました。道路整備でも砂利道の凸凹を直したり、冬期間の通勤通学用の歩道を除雪したり通行者の利便性に寄与してきました。また、市民会館をはじめと秋葉公園、保育所など公共施設の清掃、最近では、舗装道路が破損したときの緊急修理など、市民生活に密着した事業を行ってきました。

今後は、全国的に廃止の方向へ

平成二年度に労働省に提出された失業対策制度調査研究会の報告書によると、関係者の理解を得ながら平成七年度末には全国的に廃止の方向で検討することが適当と思われると報告しています。平成三年度、県内では失業対策事業を実施するのは新潟県と新潟市だけになります。

火災・救急データ

◆火災発生件数 6(6)	◆救急車出動件数 295(251)
うち建物火災 4(1)	交通事故 42(20)
焼損棟数 4(1)	主 一般負傷 25(29)
り災世帯数 3(1)	出動原因 急 病 171(155)
3月31日現在()内は平成2年中	
火災のお問い合わせは ☎24-5001~5004へ	

お買物、ご用命は市内で

NTTファクスフェア

4月1日
4月30日

NTT新津支店 23-2000

特別価格

